

# お客様に「安心」「信頼」して いただくために

## vol.33 橋けた衝撃対策について

自動車などの橋けたへの衝撃から、線路などの設備を守り、万一衝撃した場合でも、列車の抑止や安全確認などを確実にすみやかに行うため、対策を講じています。

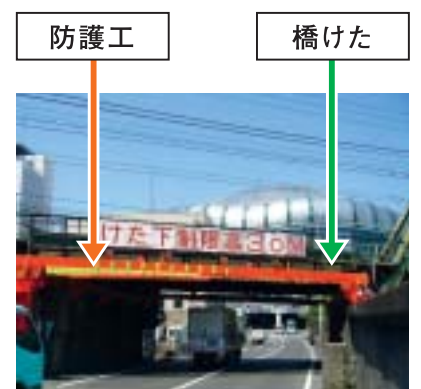
### 衝撃時の安全対策

- 自動車などが直接衝撃することを防ぐため、橋けたの手前に「防護工」を設置しています。
- 万一衝撃した場合には、列車の運転を見合わせて、安全を確認しているため、列車運行への影響が大きくなる可能性があります。

※橋けた・防護工への  
衝撃による運転  
見合わせ時分

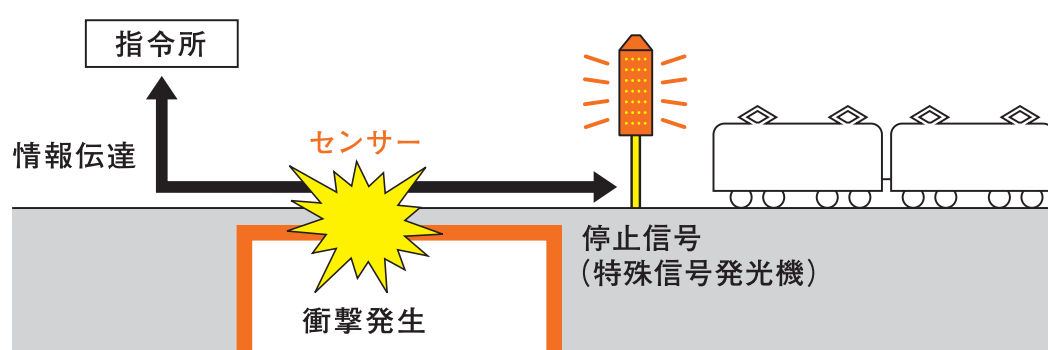
最大	約60分
平均	約30分

\*平成19年4月～7月  
(京阪神地区)



### さらなる安全性向上のために（センサーの設置）

- 列車本数が多く衝撃の可能性が高い箇所には、今後橋けたへのセンサー設置を進めていきます。これにより衝撃から列車停止までのタイムラグが解消されるとともに、橋けたへの影響がなかった場合の輸送影響を軽減します。



※鉄道の下をくぐる際には、自動車・積み荷の高さを確認し、橋けた・橋けた防護工への衝突事故にご注意ください。